

## みなさんのご意見をお寄せ下さい

「行方市庁舎建設基本計画」に対する意見を募集します。  
《パブリックコメント》

- 行方市では、平成17年9月2日に麻生町・北浦町・玉造町が合併し、以降市庁舎のあり方について検討を重ねてきました。
- これまで市報等にてお知らせしてきたとおり、平成20年2月に庁舎建設基本構想が策定され、その考え方にに基づき行方市庁舎建設委員会を設置し、長期的視点による総合的かつ具体的な検証を行い、委員会では行方市庁舎建設基本計画(案)がとりまとめられ、3つの形態(A現状の3庁舎を維持、Bいずれかの庁舎に集約、C新庁舎を建設)について中長期的な費用を試算しました。この中で「新庁舎建設」の優位性が示されています。さらに、「新庁舎建設の計画」として数値的な検証や方向性、課題等の今後の取り組みが示されています。これを受けて、市では行方市庁舎建設基本計画を策定いたしました。
- そこで、行方市庁舎建設基本計画につきまして、市民の皆様のご意見をお聞かせ下さい。いただいたご意見は公表するとともに、今後の取り組みへの参考とさせていただきます。

**計画の内容** 企画課、各庁舎の総合窓口課及び行方市ホームページ  
(<http://www.city.namegata.ibaraki.jp/>)  
内パブリックコメントにあります。

**対象者** 市内に住所を有する方  
**募集期間** 平成21年8月31日(月)まで  
**意見の提出** 任意様式に住所、氏名を記入のうえ、次の方法によりお願い致します。(なお、個人情報目的以外には使用致しません。また、意見書の返却は致しませんのでご了承願います。)

- ① 提出先窓口(麻生庁舎企画課 北浦・玉造庁舎総合窓口課)へ持参
- ② 郵便・宅配便等で送付
- ③ FAX 0299-72-3226 で送信
- ④ 電子メールで送信(E-mail: namekikaku@city.namegata.lg.jp)

**意見への回答** ご意見に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめご了承願います。

【問合せ先】企画課政策調整グループ(麻生庁舎)

〒311-3892 行方市麻生1561-9 ☎0299-72-0811(内線361) F A X 0299-72-3226

## 消費生活講演会

### 「青少年犯罪と高齢者を取巻く犯罪」

#### ～行方市消費者友の会～

2月5日、北浦公民館において、元茨城県警察署長等を歴任退官されて、現在講演や執筆活動で活躍中の菊池興安氏を講師に迎え、「青少年犯罪と高齢者を取巻く犯罪」についての講演会が開催されました。

現代社会は、以前では想像すらできなかった犯罪が増加、多発、情報化社会におけるインターネットを介した犯罪も増加の一途を辿っています。

講演では、長年警察の現場にかかわってきた経験から“犯罪”という視点で、一般メディアには現れない話題と対処法についてユーモアを織り交ぜながら話されました。

身近な危険では交通事故・火災・泥棒(窃盗)・ひったくり・車の盗難と振り込め詐欺について話され、交通事故では歩行老人と自転車の接触で老人が死亡した例、ひったくりは県内で増えているそうです。

そして、現在多発している振り込め詐欺に遭わないために、むやみに個人情報を話さない、家族で「合言葉」を申し合わせておく、振り込む前に必ず誰かに相談することが大事と話されました。

**= 行方市消費者友の会では、  
会員を募集しています =**

【問合せ先】

消費者友の会事務局 ☎0291-35-2111  
(商工観光課内)

青少年犯罪では、非常にまじめな子ほど非行に走る子が多い。子供のうちから、『世の中は、社会は、厳しい』ということをお教え込むことが大事だそうです。また、青少年は、面子、体面を親が表に出すと余計反発を強めるそうです。

高齢社会と犯罪では、高齢者自身の犯罪が増え、刑務所の収容が定員オーバーになっている現状にあります。

一方高齢者が犯罪に巻き込まれないためには、ひとり暮らしの方は、老人ホームに入所することも一つの方法であるとし、近所隣りで安否確認を図るなどし、『生の大切さ・犯罪に巻き込まれない』という認識に立つことが大切であると話されました。



### アントラーズホームタウン 小学校訪問のパネルを 展示しました

鹿島アントラーズは、ホームタウン活動の一環として全小学校を選手たちが訪問しています。そこで昨年同様に、アントラーズ

の選手たちがホームタウンの小学校へ訪問した際の様子を記録したパネルを、2月25日から3月10日まで市役所各庁舎に展示しました。地元小学生とアントラーズ選手とのふれあいの記録をたくさんの方にご覧になっていただきました。



なお、同パネルは4月1日からカシマサッカーミュージアムにおいて展示していますので、まだご覧になられていない方はぜひ足をお運びください。

※カシマサッカーミュージアム  
鹿嶋市神向寺 26-2 TEL: 0299-84-1155  
ホームページ: <http://www.so-net.ne.jp/antlers/museum/>

### 霞ヶ浦の環境保全意識を 高めよう!

第71回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦が、3月1日に拠点地区事業として今年も行方市「霞ヶ浦ふれあいランド」で行われ、県及び行方市が主催で総勢500名により盛大に実施されました。

これは、地域住民と共に一斉清掃を実施することで、より一層の流域住民への霞ヶ浦の環境保全に対する環境意識を図ることを目的としたもので、地元高須地区や、西小はやしの会、玉造小学校をはじめ様々な関係者の協力で行われました。一見きれいに見えた湖畔沿いも、集まってきたごみの量の多さに、子供たちからは「たばこの吸殻やカンは決まった捨てる場所に捨ててほしい」、保護者からは「たくさんのごみにびっくりりましたが、親子で参加できたのでいっしょに霞ヶ浦に関心をもてよかった」などの感想も聞かれ、参加者の霞ヶ浦に対する意識は高まったようです。

尚、当日は市内でも全市民による清掃作戦も同時に行われました。



### 朝顔カーテンの取り組みに 参加しよう!!

環境保全行方市民会議は、地球温暖化防止の一環として、CO<sub>2</sub>削減や花いっぱい街づくりと市民の環境意識の高揚を目的に、朝顔カーテンの取り組みを実施します。この取り組みは朝顔を窓際等にカーテンのように大きく育て、日陰をつくることで冷房温度を高めめに設定し、「花」と「緑」を楽しみながら、CO<sub>2</sub>削減を実行することができます。市民のみならず、広くすすめていこうと考えておりますので、ご理解と協力をお願いいたします。

今年度はモデル事業として、市内の事業所・学校・家庭等へ委託しますが、朝顔の種をご希望の方は環境保全行方市民会議事務局(行方市役所北浦庁舎環境課)までお問い合わせください。

FAX ☎  
029911351211  
0299113513258



#### 環境豆知識

##### アサガオを知ろう!

花ことば・・・優しい愛情  
ヒルガオ科の一年性植物で、つる性。日本で最も発達した園芸植物です。

真夏に開花。花は大きく開いた円錐形でおしべが5個、めしべが1個。

気温は高温で多日照りが良好。アサガオが好きな土の質はPH5.6～6.0の弱酸性の土(赤玉・黒土・ピートモス・パーミキュライト等)です。

### 表彰者のお知らせ

2月20日に開催された、茨城県土地改良事業団連合会第51回通常総会において、土地改良事業の発展に尽力された団体・個人に対して表彰が行われました。今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

#### 【土地改良功労団体者賞】

沖洲土地改良区

(理事長 岡田廣志氏)

#### 【土地改良功労者賞】

宮内 務氏 (吉川土地改良区 理事長)



#### 【問合せ先】

農林水産課 (北浦庁舎)  
☎ 0299113512111

## 「茨城空港」来訪者 おもてなし勉強会

市商工観光課は商業振興等の気運醸成を図ることを目的として3月16日（月）「茨城空港来訪者おもてなし勉強会」を開催しました。市内の観光・商工関係者等が参加し、空港建築現場で県空港対策課担当より進行状況や概要などの説明を受けました。効率的でコンパクトな空港は増加を続ける首都圏航空需要に対応し、チャーター便、ビジネスジェットの受け入れなど首都圏3番目の空港としてその役割が期待されます。

また、マザー牧場取締役（インバウンド担当）兼ザ・鹿野山カントリークラブ取締役支配人の池田和隆氏を講師にお迎えし、『先進企業が実践するインバウンド策』というテーマでご講演いただきました。実際に外国人観光客の誘致を担当されてきた池田先生のお話はとてもわかりやすく、『おもてなし』について理解を深めることができましたようです。



## 地域農業と食の安全

地元の子供たちに地域の農業・農産物への関心を深めてもらうため、玉造地区の女性農業者団体「行方市農村女性地域社会活性化推進連絡会」（根崎和枝会長）による食農教育事業が、放課後児童クラブの玉川・現原・羽生キッズの児童たちを対象に行われました。

児童たちは、農家のお母さん方による農産物に関するクイズやカルタなどを楽しみました。クイズでは答えを一生懸命考え、カルタでは札を取りに行く大変元気な姿が見られました。その後は、行方産のサツマイモ『べにまさら』を使った焼きたての焼きもをみんなでおいしくいただきました。



## 行方産のお米で 育った行方産の豚肉

2月26日（木）レイクエコーにおいて「飼料用米を活用した豚肉の食肉セミナー」が行方市飼料用米生産・給与実証研究会（山口庄三郎会長）の主催で開催されました。

第一部では中川学園調理技術専門学校の中川一恵先生から「未来に伝えたい常世の食」テーマに、山形県で行われている飼料用米プロジェクトを例に、飼料用米の生産に取り組み、国産飼料の自給率を高めることの重要性について講演をいただきました。

第二部では、行方市飼料用米生産・給与実証研究会が昨年からの取り組みで行方産の飼料用米で飼育された豚肉の試食会が行われました。



参加された皆さんからは、「柔らかな食感」「日本人だから、お米を食べていると聞くだけでうれしい感じ。おいしくいただきました。」「国産のえさということで安心。」などの感想が聞かれました。

また、同じく行方市内で栽培された「もち麦」を使ったパンやシフォンケーキの試食もおこなわれました。

## 行方市飼料用米生産・給与実証研究会の取り組み

国全体で人間が食べるお米（主食用米）が生産過剰になっている現状のなかで、主食用米の生産過剰を抑える転作作物として飼料用米の試験的作付けに取組みました。品種名は「クサホナミ」。

今後は、この飼料用米をつかって畜産物を生産するシステム、地産地消を目指していきます。

## 元アントラーズキャプテン 本田泰人サッカー教室

元鹿島アントラーズキャプテンの本田泰人さんを講師に迎えたサッカー教室が2月22日(日)北浦運動場第一グラウンドで行われました。行方市内のサッカースポーツ少年団や中学生など約250名を本田さんとアントラーズの4名のコーチ、そして鹿島アントラーズDFの笠井健太選手も特別参加し指導。子どもたちは、あこがれのJリーガーのプレーに目を輝かせながらボールを追いかけました。



## 手作り竹細工 おもちゃ遊び

玉造小学校では、3月9日(月)と13日(金)に、羽生在住の千葉弥四郎さんがひとつひとつ心を込めてつくった竹細工おもちゃで楽しく遊びました。

竹細工おもちゃは、「竹とんぼ」「体操人形」「知恵の輪」「回れプロペラ」「うぐいす笛」などで、全種類を一人一人の子どもたち(全校児童246名)にプレゼントしてくれました。

当日は、田神常雄さん、佐山さんと子さん、高崎まささん、坂と子さんの4名の方が一緒に遊び方になり、子どもたちに遊び方を教えてくれました。

子どもたちは、時間が経つのも忘れてしまうほど手作りのおもちゃに夢中になり遊んでいました。



## 森と緑を守る会結成

茨城県では、森林や霞ヶ浦をはじめとする湖沼・河川などの公益的機能の重要性にかんがみ、これら環境の保全に資する施策の一層の推進を図るため、平成20年度から5年間「森林湖沼環境税」が導入されました。

そして、管理されずに荒廃した森林が増加していることから、森林湖沼環境税を活用し平地林・里山林の保全・整備を図るための「身近なみどり整備推進事業」が平成20年度にスタートしました。

行方市では、平成20年度の事業として小貫と西蓮寺地内の3箇所が認められ、整備を進めてきました。



参加者全員で記念撮影



会員の皆さんが豚汁を用意してくれました

この事業では、下刈り・木柵の設置・植栽などが実施され、整備実施後の森林については、市と山林所有者等において、10年間の森林の転用禁止などを定めた保全管理協定を結び、身近なやすらぎの場として豊かな森林環境を維持するための管理を行うことになっていきます。

3月16日(月)小貫地区において「森と緑を守る会(斎藤正会長)」の結成式が、坂本市長をはじめ、関係機関の関係者、地元の小貫小学校の児童も参加して開催され、坂本市長から「子どもたちが森で遊び、ふれあい、新たな発見もあることと思います。今後、学びの場として活用されることを期待します。」とあいさつしました。